



# 第38回

# 抗議デモ・学習会

# 5月11日(土)

- 抗議デモ 午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター前広場
- 学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

講演 **「ひかりの輪で経験したこと、その本質」**  
— 脱会信者の方の体験談を聞きます —

アレフ・ひかりの輪を経験し、2016年にひかりの輪を脱会した中山さんから、話を聞きます。聞き手は滝本太郎弁護士。「嘘をつくのがワーク」だった上祐、彼は内部でどんなことを話しているか、どんな団体なのか、そして本当の脱会とは？いろいろなエピソードがありましょう、とても貴重な機会です。ぜひご参加ください。

手話通訳が  
あります

主催：烏山地域オウム真理教対策住民協議会 後援：世田谷区

## 第13回

# リサイクルバザー

**4月13日(土) 午前10時** 烏山区民センター前広場  
(雨天の場合は3階会議室とセンター前広場テント内で行います)

●お問い合わせ：03(3326)1202 (烏山総合支所内事務局)

## 募金のご協力ありがとうございました。

- |                    |           |              |          |
|--------------------|-----------|--------------|----------|
| ●烏山・給田地区合同新年会      | 募金14,985円 | ●第31回中学生のつどい | 募金2,775円 |
| ●第21回からすやま新年子どもまつり | 募金1,782円  | ●若返り桃まつり     | 募金2,790円 |
| ●三世代地域交流もちつき大会     | 募金23,582円 |              |          |

## 「地下鉄サリン事件から24年の集い」に参加して 寄稿

3月16日(土) 地下鉄サリン事件被害者の会などが主催する、「地下鉄サリン事件から24年の集い」に参加した。烏山地域住民協議会でも、様々な支援をいただいている中村裕二弁護士が「オウム真理教の暴走を許したのは誰か」と題し最初に講演した。オウム真理教事件の死亡者は、これまで28人とされていたが46人に及ぶとの発表には驚いた。坂本弁護士一家殺害事件は、オウム真理教のバッジが、部屋に落ちていたことなども含めた、横浜弁護士事務所の情報提供や、死刑囚信者岡崎一明が一家を埋めた場所を明らかにした詳細な地図を警察に届けたが、情報が生かされず、失踪との方針で捜査が続けられた。さらに、トップの捜査方針に逆らえない警察組織の壁についても言及。松本サリン事件では、長野県警のサリンへの知識の欠落、押収目録の化学式の間違いなどがありながら捜査が進んでしまった。麻原やオウム真理教を、批判的でなく、面白おかしく取り上げてしまったマスコミの反省も促した。詳細な年表を駆使し、これまで公表されなかった内容に講師の覚悟が感じられた。その後シェアタイムを挟み、公証役場事務長逮捕監禁致死事件の遺族、假谷実さん(息子)と高

橋シズエさんが、伊藤芳朗弁護士の司会で対談へと移った。假谷さん殺害事件は、地下鉄サリン事件の強制捜査回避を目的に、オウム真理教が起こした、全く自己中心的な事件だった。假谷さんは「命を奪ったなら命で償ってもらえないと言うのが私の基本的な考え」としながらも「心の傷を癒やしてくれる償いもあるのではないか。人の命を救う活動とか、死刑以外にもあるのではないか」と被害者支援の運動の中で、行きついた心境を語った。高橋さんは「遺族には風化はないんです」と語りながらも「元教祖麻原彰晃(本名松本智津夫)は憎い。だが他の12人の死刑囚は、麻原にあやつられた犠牲者と思う」と話し、そんな心情になったきっかけは、坂本一家殺害事件の元死刑囚の親たちが、地下鉄サリン事件の直前まで家族三人の救出運動を担っていた事を知り「この人たちも被害者だ」と思ったことがきっかけと語った。假谷さん、高橋さんは被害者でありながら、死刑囚信者やその親、事件の被害者家族に寄り添う姿に、目頭が熱くなった。特に被害者だからこそ思い悩み、死刑囚や死刑について考えぬいた前向きな姿が印象的だった。オウム真理教事件の原点に立ち返らせてくれた集いに感謝します。

## 足立の活動は最重要

足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会(水上久志会長)は、3月17日(日曜日)、アレフに対する抗議運動として20回目のデモ行進を行ない、アレフ施設前で抗議文を読み上げた。

デモには、烏山地域オウム真理教対策住民協議会と世田谷区から古馬会長を始め4人が参加した。このデモには、足立入谷地域の対策住民協議会のメンバーをはじめ、地域の町会名のプラカードを持った町会の人、近藤足立区長、衆議院議員、東京都議会議員、足立区議会議員など総勢190人が参加した。

今回のデモの集合と出発は、旧入谷南小学校に変更となり、デモ行進の前に水上会長と近藤区長が「今回で20回目のデモとなるが、未だに活動を続けるアレフに、引き続き解散に向けて抗議する」と力強く挨拶した。

午前11時、水上会長らを先頭にオウム断固反対の横断幕や、のぼり旗を掲げながら、「反社会的集団オウムはいらない」「安全に暮らせるまちを返せ」「我々は解散するまで断固戦うぞ」とシュプレヒコールを続け、デモ行進が始まった。

アレフ施設前では、抗議文を読み上げシュプレヒコールを行ったが、アレフは誰も姿を見せなかった。

その後は足立入谷小学校までデモ行進を続け、本日の参加

者のあらためての紹介と参加者数の発表があり、古馬会長からは、2月28日、ひかりの輪に対する観察処分取り消しの裁判で、東京高等裁判所は逆転勝利の判決を下したことの報告と、アレフの本拠地が足立となった今、この足立の活動が日本中に影響する重要な活動となっていると挨拶した後、12時に解散となった。



アレフ施設前を行進するデモ隊

## 住民協議会活動報告

3月16日(土) 「地下鉄サリン事件から24年のつどい」参加  
3月17日(日) 足立区抗議デモ参加  
3月18日(月) 実行委員会  
3月25日(月) 編集会議 協議会ニュース184号初校正  
4月1日(月) 編集会議 協議会ニュース184号再校正

4月3日(水) リサイクルバザー物品受付  
4月4日(木) 事務局会議  
4月5日(金) リサイクルバザー物品受付  
4月7日(日) リサイクルバザー物品受付  
4月8日(月) リサイクルバザー物品受付  
4月9日(火) 協議会ニュース184号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。